



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月2日

東

上場会社名 株式会社エイジス 上場取引所
コード番号 4659 URL <https://www.ajis.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福田 久也
問合せ先責任者(役職名) 財務会計部長 (氏名) 西本 敬 (TEL) 043-350-0567
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	26,500	9.7	1,726	3.4	1,803	3.4	1,473	44.3

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 1,577百万円(45.8%) 2025年3月期第3四半期 1,082百万円(24.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭 174.70	円 銭 —
2025年3月期第3四半期	121.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円 30,981	百万円 25,879	% 83.3
2025年3月期	30,731	25,083	81.4

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 25,819百万円 2025年3月期 25,029百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 95.00	円 銭 95.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期(予想)				95.00	95.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円 37,000	% 8.9	百万円 2,350	% △22.5	百万円 2,512	% △19.9	百万円 2,070	% △1.6

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 P. 8 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記
事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期 3Q	10,771,200株	2025年3月期	10,771,200株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3Q	2,331,091株	2025年3月期	2,337,436株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期 3Q	8,436,921株	2025年3月期 3Q	8,429,838株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P. 3 「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（2025年4月1日から2025年12月31日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景とした個人消費の持ち直しがみられ、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、米国の通商政策動向に起因する景気下振れリスクや物価上昇の継続が依然として個人消費に影響を及ぼし、先行き不透明感の強い状況が続きました。

当社グループの主要顧客であります流通小売業界におきましては、生活必需品の価格上昇による消費者の節約志向の強まりに加え、人件費・光熱費・物流費等の店舗運営コストの上昇、業種・業態を超えた競争の激化といった経営課題が継続し、業界環境は依然として厳しい状況にあります。

このような環境下、当社グループは「チェーンストアの発展と豊かな社会の実現に貢献する」という企業理念のもと、株主をはじめとするステークホルダーの皆さまから選ばれる企業であり続けるべく、「サービスプロバイダーからソリューションプロバイダーへ」「メーカーと小売業と消費者をつなぐ唯一無二の存在へ」を掲げ、社会的価値の向上を目指す中期経営計画「vision50」（2025年3月期（第48期）から2029年3月期（第52期）まで）を策定し、その実行に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高26,500百万円（前年同期比9.7%増）、営業利益1,726百万円（前年同期比3.4%増）、経常利益1,803百万円（前年同期比3.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、本社売却に係る固定資産売却益の影響もあり1,473百万円（前年同期比44.3%増）となりました。

セグメントごとの業績は、以下のとおりであります。

I リテイルサポート事業

売上高は、国内棚卸サービス、集中補充サービスおよびマーチャンダイジングサービスにおける主要顧客からの受注店舗数の増加に加え、2025年9月1日に実行したパーソルマーケティング株式会社の事業譲受に伴う顧客承継の影響により増加しました。

営業利益は、集中補充サービスおよびマーチャンダイジングサービスにおける生産性向上等の増加要因が、減価償却費やデジタル投資等による販管費増加の減少要因を上回り、増益となりました。

これらにより、売上高は19,997百万円（前年同期比11.7%増）、セグメント利益は1,696百万円（前年同期比10.3%増）となりました。

II マーケティング事業

売上高は、リアルマーケティングソリューションサービスの新規受注および主要顧客からの受注増加などにより増収となりました。

営業利益は、成長セグメントとしての位置づけのもと人材交流の強化や人員増強を進めた結果、人件費及び販管費が増加し、減益となりました。

これらにより、売上高は4,336百万円（前年同期比9.1%増）、セグメント利益は11百万円（前年同期比85.0%減）となりました。

III 国際事業

売上高は、アセアン地区での受注店舗数の増加等の増加要因があった一方、東アジア地区における主要顧客の業績不振に伴う取引縮小の影響により、減収となりました。

営業利益は、アセアン地区での実施条件の見直し等の増加要因があったものの、東アジア地区での実施店舗数減少に加え、人件費および事業活動に伴う移動経費の増加等により、減益となりました。

これらにより、売上高は2,165百万円（前年同期比4.6%減）、セグメント利益は6百万円（前年同期比85.5%減）となりました。

なお、国内事業（リテイルサポート事業、マーケティング事業）には、2025年9月1日に実行したパーソルマーケティング株式会社の事業譲受に伴う影響が含まれております。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は30,981百万円（前連結会計年度比0.8%増）となりました。これは主に、事業譲受に係る対価の支払い等により現金及び預金が減少したものの、当該譲受によるのれんの増加や、次世代基幹システムに係るソフトウェアなどを含む無形固定資産のその他が増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は5,102百万円（前連結会計年度比9.7%減）となりました。これは主に、未払金等が増加したものの、未払法人税等および流動負債のその他に含む未払消費税等が減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は25,879百万円（前連結会計年度比3.2%増）となりました。これは主に、本社売却に伴う固定資産売却益などにより親会社株主に帰属する四半期純利益が増加し、その結果、利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績経過は、概ね計画通りの推移となっております。現時点での通期業績予測につきましては、2025年5月15日に発表いたしました「2025年3月期決算短信」に記載の業績予測と変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	15,972,506	14,119,631
受取手形、売掛金及び契約資産	5,102,669	4,866,716
有価証券	299,764	199,715
貯蔵品	33,956	26,916
その他	383,442	495,226
流动資産合計	21,792,339	19,708,206
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,276,014	586,022
その他（純額）	505,228	438,780
有形固定資産合計	1,781,243	1,024,803
無形固定資産		
のれん	1,433,012	2,634,830
顧客関連資産	482,496	426,824
その他	1,470,052	2,412,960
無形固定資産合計	3,385,561	5,474,614
投資その他の資産		
投資有価証券	3,284,278	3,493,482
その他	492,376	1,284,411
貸倒引当金	△4,000	△4,000
投資その他の資産合計	3,772,654	4,773,894
固定資産合計	8,939,459	11,273,312
資産合計	30,731,799	30,981,518
負債の部		
流动負債		
短期借入金	170,301	170,678
未払金	2,895,128	3,106,863
未払法人税等	692,175	379,114
賞与引当金	546,576	287,241
役員賞与引当金	6,024	3,895
事務所退去費用引当金	-	6,530
その他	1,151,245	856,248
流动負債合計	5,461,451	4,810,571
固定負債		
退職給付に係る負債	8,607	9,853
その他	178,040	281,638
固定負債合計	186,647	291,491
負債合計	5,648,099	5,102,063

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	475,000	475,000
資本剰余金	479,301	485,121
利益剰余金	27,415,611	28,088,371
自己株式	△3,697,227	△3,687,225
株主資本合計	24,672,685	25,361,267
その他他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	123,446	268,961
為替換算調整勘定	233,629	188,999
その他の包括利益累計額合計	357,075	457,960
非支配株主持分	53,939	60,227
純資産合計	25,083,700	25,879,454
負債純資産合計	30,731,799	30,981,518

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	24,146,972	26,500,038
売上原価	18,335,078	20,254,765
売上総利益	5,811,894	6,245,272
販売費及び一般管理費	4,143,114	4,519,003
営業利益	1,668,779	1,726,269
営業外収益		
受取利息	48,701	54,855
受取配当金	6,086	7,835
受取賃貸料	19,625	19,748
業務受託料	13,766	12,657
その他	25,573	22,376
営業外収益合計	113,754	117,473
営業外費用		
支払利息	3,330	3,507
為替差損	5,237	8,183
貸倒引当金繰入額	4,000	-
賃貸費用	9,311	8,498
業務受託費用	13,078	12,024
その他	3,667	8,354
営業外費用合計	38,624	40,568
経常利益	1,743,909	1,803,174
特別利益		
固定資産売却益	3,772	619,753
その他	72	5
特別利益合計	3,844	619,759
特別損失		
無形固定資産除却損	-	9,311
固定資産売却損	-	3,376
減損損失	-	35,601
固定資産除却損	3,522	992
事務所退去費用引当金繰入額	-	6,530
事務所退去費用	-	49,698
特別損失合計	3,522	105,510
税金等調整前四半期純利益	1,744,231	2,317,422
法人税等	718,212	840,476
四半期純利益	1,026,018	1,476,946
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,493	2,978
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,021,525	1,473,967

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	1,026,018	1,476,946
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,894	145,514
為替換算調整勘定	50,597	△44,618
その他の包括利益合計	56,491	100,896
四半期包括利益	1,082,510	1,577,842
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,078,083	1,574,852
非支配株主に係る四半期包括利益	4,426	2,989

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	リテイルサポート事業	マーケティング事業	国際事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	17,903,357	3,973,782	2,269,832	24,146,972
セグメント間の内部売上高又は振替高	76,826	4,263	—	81,089
計	17,980,184	3,978,045	2,269,832	24,228,062
セグメント利益	1,538,155	74,991	48,105	1,661,252

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利 益	金 頓
報告セグメント計	1,661,252
セグメント間取引消去	7,527
四半期連結損益計算書の営業利益	1,668,779

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	リテイルサポート事業	マーケティング事業	国際事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	19,997,067	4,336,995	2,165,975	26,500,038
セグメント間の内部売上高又は振替高	77,934	1,290	—	79,224
計	20,075,001	4,338,285	2,165,975	26,579,262
セグメント利益	1,696,576	11,231	6,998	1,714,806

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,714,806
セグメント間取引消去	11,462
四半期連結損益計算書の営業利益	1,726,269

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「リテイルサポート事業」および「マーケティング事業」において、パーソルマーケティング株式会社からの事業譲受により、のれんの金額が増加しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において、「リテイルサポート事業」は1,472,034千円、「マーケティング事業」は35,767千円であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）、のれんの償却額および顧客関連資産償却費は次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	184,159千円	324,593千円
のれんの償却額	180,956千円	269,786千円
顧客関連資産償却費	55,672千円	55,672千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

以上